

生命歯学部101回卒 第一回勉強会・同窓会開催

平成30年12月2日（日）、卒後7年が経過し、101回卒同期たちによる近況報告と懇親を兼ねた勉強会、および同窓会が開催された。今回の企画にあたり、今後の活動も考慮し運営委員会を発足し、会長を倉治竜太郎君、副会長を武内一広君と筆者の2人が務めることとなった。

勉強会は、私たちが学生時代に学んだ生命歯学部152講堂で、多様な分野と立場から同期の話が聞けるようにと、以下の演題で5人の演者を選出させていただいた。

- ・ 武内一広君（埼玉県内勤務）：インプラント治療における基本的な考え方
- ・ 辺見卓男君（本学歯科放射線・口腔病理診断科）：口腔病理 UPDATE
- ・ 大井 瞬 君（埼玉県内勤務）：上顎前歯部に対し APF で対応した一症例
- ・ 井本泰樹君（神奈川歯科大学附属病院矯正科）：矯正歯科の可能性～重度叢生症例～
- ・ 倉治竜太郎君（本学生命歯学講座・歯周病学講座併任）：最新歯周病分類（2018）に基づく診断とその治療法

久しぶりに訪れる懐かしい講堂で、同期たちの成長を感じ、積極的なディスカッションが行われ、盛況のうちに終了した。個人的には、辺見君の白板症の治療と診断に関する考え方が、在学中に学んだものから非常に進んでおり、大変参考になった。

その後、東京ドームホテルへ移動し同窓会が開催された。久保慶太郎君の司会のもの



勉強会の様子（生命歯学部152講堂）

と、開会の辞を倉治君が、乾杯の発声を筆者が担い、在学中の思い出話から日々の臨床や今後の展望など終始和やかな雰囲気の中、会が進行した。途中、参加者全員の近況報告を行い、武内君による閉会の辞で一次会がお開きになったが、そこで解散になるわけもなく、水道橋の街へと場所を移して二次会が開催された。

今回、同窓会を実行するにあたり、懇親会のみでなく勉強会も行ったのは、それぞれ違う環境にいる同期たちから多くの刺激を貰い、明日からの臨床に活かしていきたいという気持ちがあったからで、その目的は十分に果たせたと思う。また、案内の出し方や時間配分などに課題が残ったが、今後も定期開催できるよう、たくさんの同期の積極的な参加を切に願う。

（大井 瞬 記）



生命歯学部101回卒 第一回同窓会 平成30年12月2日 於 東京ドームホテル